

## 「首都圏中央連絡自動車道4車線化」に係る知事コメント

令和5年3月3日、国土交通省及び東日本高速道路株式会社が整備を進めていた「首都圏中央連絡自動車道（圏央道）」の久喜白岡ジャンクションから幸手インターチェンジ間及び境古河インターチェンジから坂東インターチェンジ間が令和5年3月31日から4車線で運用開始となるとの発表がありました。

圏央道は、放射状に延びる高速道路や都心郊外の主要都市を結び、首都圏の経済活動と暮らしを支える大変重要な道路です。

首都圏の交通渋滞緩和や経済活動の生産性向上、企業立地の促進など、経済に好循環をもたらす効果が期待されるとともに、大規模災害により放射道路が寸断した場合の迂回（うかい）経路の確保など、多重性（リダンダンシー）の機能強化においても極めて有用です。

このたびの4車線化は、これまで2車線区間で発生していた交通渋滞の解消や交通事故等による通行止めの減少などにより、圏央道本来の整備効果が十分発揮され、首都圏の更なる発展に大きな効果をもたらすと大いに期待しております。

埼玉県といたしましては、圏央道の整備効果が十分発揮されるよう、引き続き、沿線市町と協力して周辺道路の整備を進めてまいります。

令和5年 3月 7日  
埼玉県知事 大野元裕